

皮膚・排泄ケア 認定看護師

2009年4月から7ヶ月間、
皮膚・排泄ケア認定看護師
の資格取得のため、研修に
参加。2010年資格取得。



高野 岳史さん

統合医療安全管理室
褥瘡管理担当

2003年：宮城県立宮城大学看護学科卒業
2003年：入職
2010年：皮膚・排泄ケア認定看護師資格取得
2014年：主任昇任
2015年：認定看護師資格更新

第1の転機

25歳

ストーマ管理に興味を

ストーマ保有者の抱える問題や
悩みに触れる中で、ストーマ管理や指導
そのものがストーマ保有者の人生観に
大きな影響を与える極めて責任のある
看護ケアだと感じていた。



新人時代は、これから自分が
どうしていきたいかという
明確な夢や目標はなく、
目の前の患者さんへのケア
を精一杯行っていた。

22～29歳 消化器外科病棟で勤務

その後、ストーマ造設術前後の
管理、日常生活へのアドバイスや
精神的サポートを積極的に行う
ようになった。そして、さらに学習
を深めたいと思い、認定看護師の
研修を受講をした。

患者さんのニーズに質の高い
看護で応え、健康の
維持・増進を支援できるよう、
全力を尽くしています。

第2の転機

30歳～

認定看護師として活動

褥瘡ケアを中心に、皮膚・排泄
ケア分野の実践・指導・
コンサルテーションを行っている。



29歳～現在

褥瘡管理専従看護師として

研修終了後から褥瘡管理の専従看護師となり、
現在まで組織横断的な活動を行っている。
資格取得から5年が経過し、主任昇任や資格
更新も経験したため、今後は管理の視点を
強く意識して活動していきたい。

現在は、医師、管理栄養士など多職種と連携し、チームとして褥瘡、医療関連機器圧迫創傷
対策に取り組んでいます。また、各部署から専門分野の相談を受け実践・指導を行っています。
認定看護師スクールの研修は7ヶ月間でしたが、病院からの支援体制が整っていたため、安
心して学習に取り組む事ができ、専門的な知識・技術を習得することができました。当院には認
定看護師など自分のレベルアップを目指す方には安心して学習できる環境があると思います。
余談ですが、当院は男性看護師が多く、男性看護師だけで集まる機会もあります。まだまだ肩
身の狭い環境かもしれませんが、リフレッシュしながら楽しく仕事をしています。